

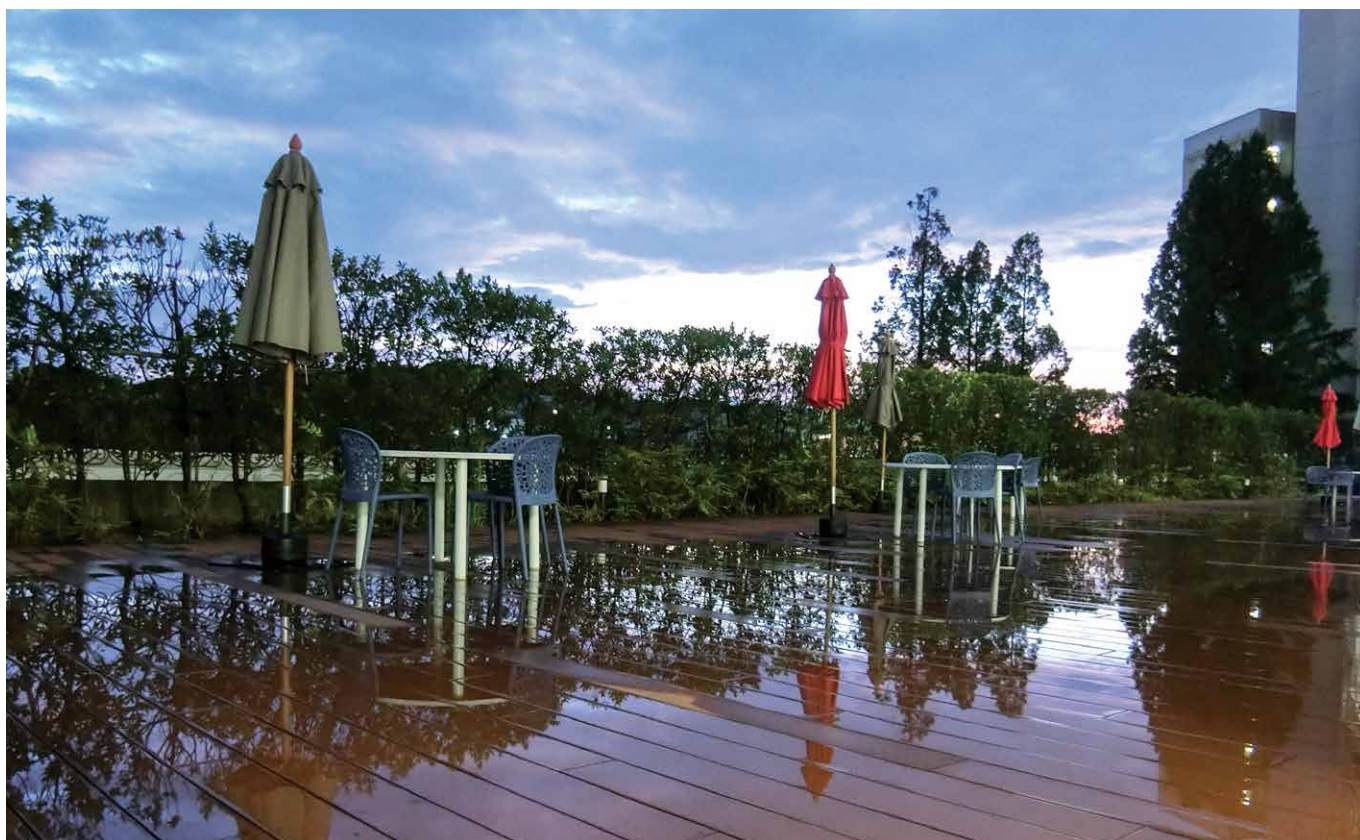
C O N T E N T S

# 父母の会 だより No.93

※ 2021年7～8月に執筆した内容を掲載しております。

会長挨拶	1
THE Asia Universities Summit 2021を開催して	2
低学年のカリキュラム改定について	2
コロナ対応（ワクチン接種）について	3
2020年度卒試・国試総括	4
2020年度卒業生 研修先一覧	4
新任教授挨拶	5
学園生活アルバム	7
「実習欠席届保護者事由書」のオンライン化	8
コロナ禍での新入生オリエンテーション開催	8
医学研究演習について	8
国家試験体験記	9
マッチングの感想・体験記	9
2020年度医学部父母の会決算書	10
2021年度医学部父母の会予算書（案）	11
先輩訪問	12

〒470-1192 豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98 藤田医科大学医学部父母の会



夕立後の夕暮れ（大学2号館ウッドデッキにて）

鴨下淳一撮影

## 多様性の時代



父母の会  
会長  
久志本浩子

父母の会の会長となり1年半たちました。この間COVID-19感染拡大のため新入生父母交流会も父母の会総会・懇親会も行うことができず、皆さまと直接お話する機会はありませんでした。

そんな中、皆さまに「父母の会だより」で発信できる機会を持てることに感謝しています。父母の会の代表としてふさわしいかはともかく、このような役を受けるにあたりまったく抵抗はありませんでした。今までの会長は皆男性で女性は私が初めてだと思いましたが、今までの人生の中で女性だからという理由で何かを我慢したり、しり込みしたりした経験はありません。ただし、医師という仕事を担う面では結構苦労しました。先輩医師から「女は2倍働いてやっと男と同等と思われる」と聞きましたし、実際「だから女はダメなんだ」という発言は聞いても「だから男はダメなんだ」という発言は耳に

したことはありません。

働き方改革が叫ばれ、個人の人生の充実を尊重する時代になりました。またLGBTもごく当たり前のこととして受け入れられる時代になり、今回のパラリンピックをみても、障害は障害として受け入れられる時代になったと感じます。父母の会も「みんながってみんないい」の精神で柔軟性をもって運営したいと思っています。そのためにも、現在男性が多い役員もせめて3割は女性がよいと思いますし、新一年生から役員を選出する場合も男子学生と女子学生の御父母から一名ずつお願いするように心がけています。

是非皆さまの声を届けてください。前例に固執せず、改革を行い、学生たちがより充実した大学生活を過ごせるよう力を尽くしたいと思います。

# THE Asia Universities Summit 2021を開催して

医学部長 岩田 仲生



THEアジア大学サミットは、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE) が主催する国際サミットのうち、アジア圏の大学が集うものです。本学は日本で初のホスト校となり、2020年、「Crossing boundaries, unlocking creativity」をテーマとしたサミットが開催されました。参加者は30カ国244機関から

612名で歴代最大となり、計68名の登壇者がオンライン上で熱い議論を交わしました。

サミットでは、日本の大学の課題も議論されました。THE世界大学ランキングにおいて、日本は721位（2017年）から1204位（2022年）と400位近く平均順位を落としています。この理由として、教育・研究分野で特にレピュテーション（外部からの評価）のスコアが伸び悩んでいること、論文引用の伸び率が低いことが挙げられます。日本の大学には、科学研究が短期の競争的資金に大きく依存していること、研究期間と乖離した単年度予算の制度といった課題があります。この他、バイリンガル環境構築の困難さによる国際化の遅れ、産業界で博士号の重要性が低いことを一因とする研究力低下も指摘されました。

本学では早くから、多面的・包括的な医療人の育成を目指したアセンブリ教育を導入してきました。今後は「他国のメンバーと仕事ができる」力を持つ人材の育成や教育プログラムのキャリア活用をイメージさせる支援も必要でしょう。さらにサミットでは、大学が生涯学習の「精神」を構築することの重要性と、それに伴う運営モデルや考え方に対する「完全な変革」の必要性も述べられました。

本学は次年度もTHEアジア大学サミットのホスト校を務めます。「Facing the future, creating academic talent」をテーマに、レジリエンスのある社会を作るため、大学が取るべきアクションについて議論をしたいと思います。



今年度パネルディスカッションの様子  
※次年度はオンライン開催は予定しておりません。

## 低学年のカリキュラム改定について

教務委員長 長崎 弘



最近、医学教育を取り巻く状況に二つの大きな変化がありました。

一つは文科省が2025年度より高校教育課程でデータサイエンス教育を必修化したことです。情報化社会の深化に伴いビッグデータが集積し、経済、科学、社会のあらゆる局面においてその活用が必須となりました。医学分野でも

情報科学が急速に浸透しています。日本はこの分野で立ち遅れていましたが、高等教育過程で必修化されることとなりました。

もう一つは、2021年6月に可決された改正医師法です。そのなかで、M4の共用試験CBT、OSCEの公的化や、臨床実習から初期研修をシームレスにつなぐ方針が決定され、スチューデントドクターを研修医並みにレベルアップすることが求められております。そのためにはM1からM4前期の3年半で医学の知識、技能をより高いレベル

で修得することが必要です。これらの要請に対応するため、岩田医学部長を中心に教育内容の見直しを行い、2021年度より以下の通り教養課程の科目変更を実施しました。

- ① 基礎データサイエンスの新設（「数学」と「情報処理の基礎」を統合）  
統計学、MatLab初歩、機械学習などデータサイエンスの基礎を学ぶ。講義19コマ、演習11コマ
- ② 生命科学の新設（生物学/入門コースと生物学/標準コースを統合）  
これまで入門コースと標準コースに分かれていた生物学を、生命科学として一元化し、学年全体の底上げを図る。生理学、生化学、臨床医学との垂直統合に配慮した内容を学ぶ。講義27コマ、実習15コマ

M1の物理学および化学についても、基礎課程の生理学、生化学、さらには臨床医学との垂直統合的な内容にするため、教員間で何度も話し合いが持たれ、教育内容の見直しを行いました。今後も様々な課題に即応して教育内容の見直しを実施していく所存です。父母の会会員の皆様のご理解とご教示を御願いたします。

# コロナ対応（ワクチン接種）について

教務委員長 長崎 弘

2021年度の学部教育における新型コロナウイルス感染症対応は、文科省からの3密を避け必要があれば遠隔授業を行うようにとの方針に従い、昨年度同様の体制を継続しました。すなわちM1～M4は実習がある日は登校して対面授業、それ以外は基本的に自宅でオンライン授業という形です。対面授業は密を避けるために学生を2教室に分け、教員は一方の教室の教壇に設置されたPCに向かって会議アプリ‘Teams’を通じて講義をし、もう一方の教室でその中継を見せるやり方です。もちろん事前に講義資料は配信されますし、講義動画も録画配信されます。このようなICTの活用については学生はもとより教員も昨年度より随分慣れ、トラブルも減少してきました。また、新入生が新しい環境に順応するため、登校機会をなるべく増やすような配慮もいたしました。臨床実習においては学生はスチューデントドクターとして臨床医と等しい行動をすべきであるという理念から、感染に留意しつつ1コマも欠くことなく病棟での実習を実施しております。

感染対策として大きかったのはワ

クチンの接種です。本学では3月末に職域としてワクチンを確保し、臨床スタッフのみならず全職員、全学生を対象にファイザーあるいはモデルナ社製のワクチン接種を希望に応じて実施しました。学生の接種状況を表に示します。医学部全体で9割程度の学生が接種を終えています。ワクチンの効果が期待されますが、集団免疫の帰趨は未だはつきりしておりません。幸い2021年度前期で医学部学生のクラスターはゼロであり、学生及びご父母の慎重な行動の結果と感謝しております。今後の対応につきましては、文科省や県の方針に従って対応を進める考えでおります。引き続きご理解とご支援をお願い申し上げます。

学生ワクチン接種状況（2021.8.7現在）

学年	人数	接種者（1回目）	接種者（2回目）	2回目接種者%
1	126	114	113	89.7%
2	136	122	122	89.7%
3	118	114	113	95.8%
4	120	114	112	93.3%
5	118	114	114	96.6%
6	124	122	122	98.4%

※大学未報告分の接種者は含まない

学生指導委員長 下野 洋平



新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威を振っています。『ペスト』を題材にした小説に書かれている惨状と比べれば、現代の私たちは善戦しています。本学では、新型コロナウイルス感染症対策にいち早く取り組み、教職員および学生のワクチン接種も順調に進んだことから、対策2年目となった本年度は活動再開に向けた動きも進んでいます。

オンライン講義による対面活動の減少により孤立感や精神不調を覚える学生もいることから各学年の指導教員に新たに精神神経科の先生方も加わり、早い段階でメンタルケアが出来る体制づくりを進めました。部活動は、距離の確保、換気、道具の消毒、集団スポーツ形式の練習の禁止、部員の体調管理、食事会の禁止などを条件に現在約22の団体が活動を再開しています。本年度は新入生オリエンテーションも学生諸君が感染防御対策について積極的に考案し、大学2号館や2000人ホールで実施しました。

「もう大丈夫だ、という考えがいわば稲妻のように瞬時にロンドンじゅうに広まり、人々の頭はそれにとりつかれ

てしまった。」（ダニエル・デフォー『ペスト』）。人間の性質は簡単には変わらないのか、感染防御対策を忘れたかのような行動をとるものも残念ながらいます。将来医療者となるものとして自分を守り、他人を守り、社会をよくすることを考え行動するよう引き続き指導してまいります。



学生ワクチン接種会場の様子

# 2020年度 卒試・国試総括

教務委員長 長崎 弘

2020年度は新型コロナウイルス感染症で大きく揺れ動いた一年でしたが、6年在籍者数109名のうち、104名が卒業となりました。前年度に比べ卒業時の留年者は微減でした(6名→5名)。卒業試験の合格基準は4年前からずっと同じ(卒試総合[卒1:卒2=3:7]74%、卒追総合[卒試総合:卒追=1:1]72%)です。昨年に比べ、やや難易度が上がったにも関わらず留年者が減ったのは、学年全体の成績が上がったからだと感じておりました。そして104名の卒業生が115回医師国家試験を受験し、うち102名が合格を決めました。新卒者合格率は98.1%で本学として過去最高となりました。全国順位は17位、私学では7位となりました。また、新卒+既卒合格率は96.4%で全国10位、私学では3位という結果でした。

115回国試全体を振り返ると、受験者数9,910名、合格者数9,058名(合格率91.4%、前年比-0.7%)と合格者数はほぼ前年並みでした。合格基準は69.7%であり、昨年の72.4%を下回りました。受験者のレベルが下がったのではなく、115回が全体に難易度が高かったためと判断しています。

115回国試で好成績を取ることができた要因は、第一に卒業試験の精度、第二に学生の学力向上と考えております。医師にふさわしい能力を持つ学生を卒業認定するために、本学の卒試は十分な役割を果たしています。合格点をあらかじめ74%と設定した上で、卒試の合格レベルを国試に揃えるという、難易度の高いタスクを成し遂げていることについて、卒試作成に関わる多くの教職員にこの場を借りて感謝いたします。学力レベルについては、また本年度の卒

区 分	第111回 (2016年度)	第112回 (2017年度)	第113回 (2018年度)	第114回 (2019年度)	第115回 (2020年度)	
合格基準	一般問題(200点)	128点以上 (198点満点)	208点以上 (299点満点)	209点以上 (296点満点)	217点以上 (299点満点)	209点以上 (300点満点)
	臨床実地問題(600点)	381点以上 (600点満点)				
	必修問題(200点)	160点以上	160点以上	160点以上	158点以上	160点以上
	禁忌肢問題選択数	3問以下	3問以下	3問以下	3問以下	3問以下
合格率	全国合格率(%)	88.7	90.1	89.0	92.1	91.4
	全国合格者数(人)	8,533 / 9,618	9,024 / 10,010	9,029 / 10,146	9,341 / 10,140	9,058 / 9,910
	全国新卒合格率(%)	91.8	93.3	92.4	94.9	94.4
	全国既卒合格率(%)	54.3	63.9	56.8	69.2	54.5
	本学合格率(%)	89.0	88.2	93.8	94.2	96.4
	本学合格者数(人) ※母数は受験者	97/109	105/119	121/129	113/120	107/111
	本学新卒合格者数(人) ※母数は6学年在籍者	93/120	99/114	111/131	106/118	102/104
	本学既卒合格率(%)	91.2	91.7	96.5	94.6	98.1
本学既卒合格率(%)	57.1	54.5	71.4	87.5	71.4	

医師国家試験の合格基準と合格率

業生は第一次の学費値下げ時に入学していたことから学力の高い学生が揃ったこと、さらにこの学年より臨床知識の底上げを目的としてM4時の共用試験CBTの合格基準を大幅に引き上げております。教育エフォートを重視する校風の上にこれらの要因が重なった結果と推察する次第です。

改めて卒業と国試合格という大きなハードルを乗り越えた学生達を讃えると同時に、学生を支えた多くの教員、職員、そして父母の会の皆様のご理解とご支援に御礼を申し上げます。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

2020年度卒業試験の平均点±標準偏差

第1回卒業試験 (2020年9月3日・4日)	78.67 ± 5.68
第2回卒業試験 (2020年11月17日・18日)	79.73 ± 5.12
卒業保留者追試験 (2021年1月4日)	76.75 ± 4.40

2020年度卒業試験合格者の第115回医師国家試験合格状況

卒業試験判定	①第1回判定合格者 94名	②第2回判定合格者 10名
医師国家試験合格者数 (%)	93名 (98.9%)	9名 (90.0%)

①第1回判定合格者…卒業判定教授会にて総合成績(第1回卒業試験+第2回卒業試験)による判定の結果、合格と判定された者  
②第2回判定合格者…卒業判定教授会にて総合成績(上記①の総合成績+卒業保留追試験)による判定の結果、合格と判定された者

## 2020年度卒業生 研修先一覧

	研修先施設名	人数		研修先施設名	人数		研修先施設名	人数
宮城県	石巻赤十字病院	1	愛知県	海南病院	1	愛知県	名古屋第二赤十字病院	3
	気仙沼市立病院	1		春日井市民病院	2		名鉄病院	1
東京都	慶應義塾大学病院	1	刈谷豊田総合病院	2	八千代病院	1		
	順天堂医科大学医学部附属順天堂医院	1	江南厚生病院	1	岐阜県	大垣市民病院	2	
	東京警察病院	1	公立陶生病院	2	岐阜県立多治見病院	1		
埼玉県	獨協医科大学埼玉医療センター	1	小牧市民病院	2	三重県	伊勢赤十字病院	1	
千葉県	帝京大学ちば総合医療センター	1	総合大雄会病院	1	滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院	1	
	行徳総合病院	1	大同病院	2	京都府	京都府立医科大学附属病院	2	
	聖隷佐倉市民病院	1	中京病院	1	大阪府	大阪府済生会泉尾病院	1	
	東葛病院	1	中部ろうさい病院	3	市立ひらかた病院	1		
栃木県	国際医療福祉大学病院	1	津島市民病院	1	兵庫県	兵庫医科大学病院	1	
石川県	金沢医科大学病院	1	トヨタ記念病院	1	高砂市民病院	1		
愛知県	藤田医科大学病院	28	豊橋市民病院	1	広島県	広島大学病院	1	
	藤田医科大学ばんだね病院	4	名古屋医療センター	1	福岡県	福岡大学病院	1	
	名古屋市立大学病院	1	名古屋掖済会病院	6	九州医療センター	1		
	名古屋大学医学部附属病院	1	名古屋記念病院	2	沖縄県	浦添総合病院	1	
	一宮市立市民病院	2	名古屋市立西部医療センター	1	沖縄協同病院	1		
	岡崎市民病院	1	名古屋第一赤十字病院	2				

## < 新任教授挨拶 >



### 総合消化器外科臨床教授 松岡 宏

2020年10月1日付で総合消化器外科の臨床教授を拝命いたしました。私は1995年に藤田保健衛生大学を卒業後、丸田守人先生の元、消化器外科医として働き始めました。学外では東京医療センター、埼玉社会保険病院で研修をつみ2007年より帰局、以後総合消化器外科に在籍しております。大学院で抗がん剤代謝酵素による効果発現予測を研究以来、手術時に根治成績を高めるための術前化学療法とその効果予測因子、また不幸にも再発してしまった後のQOLを維持しつつ長期予後を得るための治療開発をテーマに研究、臨床を行っております。本学出身の教授として後輩の皆様の明確なキャリアパスを構築することも私の責務と考えております。医学部父母の会の皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致しますと共に、要望もお待ちしておりますのでお願いいたします。



### 生命倫理学教育教授 飯島 祥彦

2021年4月1日付で藤田医科大学医学部生命倫理学教授を拝命いたしました。私は1988年に琉球大学医学部を卒業し、名古屋第二赤十字病院で研修、消化器内科医として勤務した後、2002年から名古屋大学法学部にて組織ガバナンスについて学び、2008年から名古屋大学医学部生命倫理統括支援室の教員として、臨床研究の倫理審査体制の拡充や臨床倫理問題への対応に従事してきました。2009年より生命倫理、医療倫理に関する仕事を進めるにあたっての理論的根拠を探索するため、名古屋大学法学研究科法哲学教室にて職業倫理問題の対応における「実践知」について研究してきました。藤田医科大学では、めまぐるしく改変する法規制や医療環境の下、医療現場で直面する倫理・法・社会的問題（ELSI）への対応について考える面白さ、醍醐味を学生みなさんにお伝えしたいと思います。ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



### 公衆衛生学講座教授 太田 充彦

2021年4月1日付で公衆衛生学講座教授を拝命いたしました。私は1997年に岡山大学医学部を卒業、2002年に同大学院医学研究科を修了しました。2007年に当講座に講師として着任してからは、小野雄一郎教授（現、学園長）と八谷寛教授（現、名古屋大学教授）のご指導を受け、産業保健（職業性心理社会的ストレスが喫煙習慣・睡眠・内分泌系に及ぼす影響、がんサバイバーの就労支援、保育労働者における腰痛など）や依存症対策（ニコチン依存、食物依存など）に関する研究を進展させてきました。公衆衛生学教育においては、医師として疾病・障害を有する人の生活や社会的背景に目を向け、人々の健康の維持・増進を通じて社会を良くすることの重要性を伝えてきました。今後も研究活動の発展と良き医療人の育成に努めます。医学部父母の会の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



### 循環器内科学臨床教授 築瀬 正伸

2021年4月1日付けで循環器内科学重症心不全分野の臨床教授を拝命いたしました。私は1992年に名古屋市立大学医学部を卒業後、安城更生病院にて研修を行いました。1998年に名古屋大学循環器内科に入局し、浜松医療センター、安城更生病院、名古屋大学病院で臨床経験を積んだ後、2007年から14年間大阪府にある国立循環器病研究センター移植医療部にて末期重症心不全に対する人工心臓治療や心臓移植治療の臨床や研究に従事してきました。本学でも人工心臓や心臓移植を見据えた重症心不全治療を主として診療や臨床研究に取り組み、学生や研修医、若手医師にこれら先端医療の知識を伝え、次世代を担う人材の育成と藤田学園の発展に尽力したいと存じます。父母の会の皆様方におかれましては、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



### 精神神経科学臨床教授 池田 匡志

この度、精神神経科学（精神科ゲノム学）臨床教授という重職を拝命いたしました池田匡志（いけだ まさし）と申します。私は1999年に名古屋大学を卒業後、トヨタ記念病院で研修を行い、名古屋大学精神科に入局しました。同大学院入学と同時に、精神科ゲノム学の最先端の研究を学ぶべく国内留学として藤田医科大学（当時藤田保健衛生大学）で研究を開始、以降は精神科病院の勤務や留学（カーディフ大学）で一時的に離れることがありましたが、継続して藤田医科大学に所属させていただいております。私の専門は精神疾患のゲノム研究であり、統合失調症や双極性障害の感受性遺伝子を同定すること、さらには向精神薬の副作用などと関連する遺伝的要因を探索する薬理ゲノム学になります。幅広く若い先生方に精神疾患およびその遺伝的要因について知識を伝え、診療の幅を広げてもらえるよう努めていきたいと考えております。ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



### 眼科学講座教授 伊藤 逸毅

2021年4月1日付けで藤田医科大学眼科学教授を拝命いたしました。私は1992年（平成4年）に名古屋大学医学部を卒業し、小牧市民病院でローテート研修後に、名古屋大学眼科に入局しました。入局後は、網膜硝子体分野で臨床、そして研究は臨床研究を一貫して行ってきました。藤田医科大学眼科は新規技術を独自に開発あるいは最新の知見・治療法を取り入れることで高いレベルで診療を行っており、現在では網膜硝子体手術では全国トップクラスの件数をこなしております。私は今後もこの非常に高いアクティビティを継続していけるよう努力していきたいと思っております。また、教育面では、次世代の医療の担い手である学生、研修医、若手医師の方々の育成に尽力したいと存じます。今後医局スタッフと共に本学の発展のために日々精進を続けていく所存ですので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



### 病理診断学（第2病院）臨床教授 浦野 誠

2021年4月1日付けで病理診断学臨床教授を拝命いたしました。私は1989年に本学医学部を卒業し、卒業後耳鼻咽喉科の経験を経て病理診断の道を選択しました。これまで、臨床各科から提出される多くの病理検体について正確・迅速な診断を行ってきました。病理診断は医学・医療全体を包含する、裾野の広い、疾患の確定という重要な役目を担う医療行為です。例えば乳癌診療においては穿刺吸引細胞診や針生検による術前診断、手術に際して切除断端やリンパ節転移を評価する術中迅速診断、さらに術後の最終診断といったように、多くの場面で医療に大きく関わっています。この病理診断の役割の重要性と魅力を学生教育においても伝えていきたいと考えます。さらに今後も診療、研究、教育の各場面において、現在大きく変革しつつある藤田学園の発展に貢献、後進の育成に務める所存です。父母の会の皆様にはご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

# 学園生活アルバム

## 卒業式 3月14日



## 入学式・署名式 4月11日



## 学内オリエンテーション 4月16日



## 「実習欠席届保護者事由書」のオンライン化

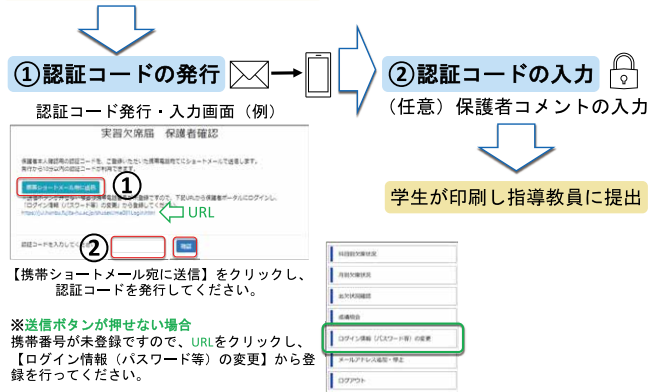
学生指導委員長 下野 洋平

昨年11月より学生指導委員長を拝命して10ヶ月ほどたちました。大過なくこられたのは教職員と保護者の皆様のご支援のお陰とあらためて感謝申し上げます。ところで、「実習欠席保護者事由書（以下「事由書」）」をご存知でしょうか。これは、学生が特別な事由（診断書が出る病欠、忌引きなど）がなく実習欠席した場合に、欠席事由をご確認いただき保護者自筆での作成をお願いしている書類です。「事由書」は実習の単位認定にも関わる重要な書類ですが、時として友人などが代筆したものが提出されます。本来であれば留年にもなりかねない行為で、実習欠席の理由の正当性も疑われます。将来に公的な文書やサインは偽造したため取り返しがつかない点は理解してもらい必要があるため、本人及び代筆者はその都度呼び出して指導しています。

「事由書」の保護者承認をより確実にを行うため、承認手続きをオンライン化しました。これは前号で教務企画部の山本部長からご案内した「保護者ポータル」を活用して行います。携帯電話に送られた認証コードの入力などオンラ

## 実習欠席届の保護者承認

学生が実習欠席届をオンライン入力



インシステムになじみのない保護者の方にはご迷惑をおかけしますが、操作法に関しては上の案内図もご参照下さい。操作法などの詳細については別途ご案内申し上げます。「千丈の堤も蟻の一穴より崩れる」と言います。実習にきちんと参加するのは学修の基本です。「事由書」の保護者承認をされる際には生活や学修習慣の乱れがないか今一度ご留意頂けますようお願い申し上げます。

## コロナ禍での新入生オリエンテーション開催

3学年 山田 祐太

令和3年度の新入生オリエンテーションは、4月16日に大学2号館とフジタホール2000で行われました。この行事は、新1年生に、同期の仲間や先輩との関わりの場を設け、これからの大学生活の不安や疑問を解消する機会を設けるため、毎年行われています。

例年は、「学外オリエンテーション」として一泊二日の合宿形式で開催されており、寝食を共にし企画をこなすことにより、仲間作りが出来る大学生活スタートの大切な行事です。しかし、昨年度は「新型コロナウイルス」の影響で4月に行うことが出来ず、中止も検討される中、10月に規模を縮小して「学内」で開催となりました。コロナ禍で、開催出来ただけで価値あることでしたが、リモート授業が増え、友人との関わりも減ることが予想される1年生に、もっと仲間の存在を身近に感じてほしかったと、歯痒い思いが残りました。

そして、今年度も「学内」オリエンテーションでの開催が決定となりました。そこで、感染対策を第一におきながら、仲間との絆を深める為の企画が行うことが出来ないかと試行錯誤しました。2・3年の有志58人が企画・運営に携わり、メインの企画として新1年生は10人ずつの班で、与えられた医療テーマに対して1つの劇を制作・発表しました。入学して1週間足らずにもかかわらず、仲間と協力してより良いものを造ろうと努力した新1年生が、6年という長い期間を共に切磋琢磨していく仲間との密な時間を共有できたことで、これからの大学生活が充実したものになれば幸いです。



右が筆者

最後に、この行事を開催するにあたりご協力いただきました先生方や様々な方々にこの場をお借りして感謝いたします。本当にありがとうございました。

## 医学研究演習について

4学年 西山 照登、木村 優希、佐高 知宏  
巽 勇輝、寺田 彬浩、若原 瑞奈

私たちは2021年2月の1ヶ月間、藤田医科大学精神科の岸太郎先生のご指導のもと論文の書き方、読み方について学びました。具体的には複数の論文を読み込み、私たちが題材とした双極性障害に対するメラトニン受容体アゴニストの有効性についてメタ解析を行ないました。

双極性障害に罹患している人の割合は日本で0.7%程と考えられており一見少ないように感じますが文化的、社会的にも違いがあるため正確な数はわかりません。症状としては躁状態の様々なエピソードが認められますが、本研究では特に睡眠欲求の減少によって生じる自殺を防ぐべく、睡眠と関わりが深いメラトニン受容体アゴニストに着眼し研究対象としました。

合計3つの論文を毎週2～3回研究室に集まり岸先生と

共に読み込んでいきました。最初は英語の論文を読むことに抵抗を感じていましたが岸先生のわかりやすい解説があったため最後まで論文を読み切ることができました。今まで意識してこなかった様々なバイアスへの対応、与えられたデータの正しい読み方などを根本から説明してくださり必要な情報がどこにあるのか、どう読み解くのかを集中的に考えることができ非常に有意義な研究を行うことができました。さらには今回の演習で岸先生の研究論文の共著者として研究に携わることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。



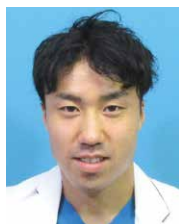
岸先生・岩田先生とともに



## 国家試験体験記

大垣市民病院

研修医(1年目) 柴原 弘就



「国家試験の勉強はいつから始めればいいですか?」という質問は僕が4,5年生の頃や6年生になってからも、とてもよく耳にしました。この質問に対する僕個人の意見としては「臨床実習が始まってから。」というのがベストな答えだと思います。ただ、これは臨床実習が開始

してから毎日クエスチョンバンクや過去問をやるという意味ではありません。これは日々の実習で患者とのやりとりからたくさんのご意見を吸収して欲しいという意味です。

僕が臨床実習を終えて感じたのは、実際の担当患者の主訴、検査、治療や経過が国試の問題に直結しているということです。例えば、主訴が咳嗽という患者がいた場合、医師がどの検査を施行し、どんな疾患が鑑別に挙がるかという診療で行われる流れが、実際の国試では頻繁に問われま

す。従って、日々の実習をなんとなく過ごすのではなく、多くのことを吸収して欲しいと思っています。

ここからは勉強法について話します。結論を言うと、卒業試験も国試も過去問演習につきます。医学は過去の知見に基づいていますから(笑)。しかし、過去問をやるに当たって、基礎の科目から勉強するのではなく、ここでも臨床問題からやることに注意です。臨床問題から解くメリットとしては、疾患概念を学ぶことができ、同時に病態基礎の知識を吸収できるからです。過去問を解きわからないことが出てきたら調べる、といった流れを繰り返すうちに問題慣れし、かなりの実力が着くでしょう。

国家試験はあくまでも医師になる通過点でしかないため、国試に合格することを目標にするのではなく、医師になった後のことを想像し頑張ってください。最後は先輩として偉そうに語りましたが、皆さんが無事医師になることを願っています。

## マッチングの感想・体験記

刈谷豊田総合病院

研修医(1年目) 今村 駿



マッチングは病院選び、マッチング準備、試験・面接の3つの過程が特に重要です。

まず病院を選ぶ際は、自分の性格と学ぶスタイルを考慮すると自分に合った病院選びができると思います。私の場合は、自分がやらなければならない状況下におかれた上で、多くの症例数を実際に経験して学んでいく方が合っていると思ったので、ERに来る人数が多い病院を選びました。一方で、病棟で一つ一つの症例を時間をかけて学びたい場合はまた違った選択になると思います。後はいくつか実際に病院見学に行ってみてください。

次にマッチング準備ですが、これが一番重要です。特に

愛知県内の人気がある市中病院に行きたいのであれば、病院見学の回数や部長・事務長・研修医の方々に印象よく覚えてもらっているか、同じ病院を志望している人のリサーチを行うかなど準備段階で確実に差が出ます。私もそうしたのですが、その後6年生の5~7月までに2~3回病院見学に行くことです。こうすると確実に部長さんの記憶には残っています。

愛知県内の病院であれば、最後の試験・面接はおまけなことが多いので、ここから頑張っても挽回はできないと思ってください。逆に東京などの人気病院はむしろここが一番の勝負になるので注意してくださいね。

私の体験からのささやかなアドバイスですが、皆さんが第一希望の初期研修病院で働けることを心から祈っています!

藤田医科大学病院

研修医(1年目) 青 茉友子



6年生になった時、数ヶ月後に迫る卒業試験やOSCE対策をしながら、自分がマッチングを順調に進められているのが不安でした。また私たちの学年はCOVID-19による影響で実習や病院見学が中止になる期間があったり、マッチングもオンライン面接など例年とは異なる

形式で行う病院が多かったこともあり、不確実な中で進んでいくことにも不安に感じました。不安な中でも、研修医1年目として働いている先輩が相談にのって下さったり、同じ病院での研修を考えている同期と協力し合いながらマッチングを進めていきました。

私は地域枠入学ということもあり、藤田医科大学病院で

の研修を行うことになりました。実際に働き始めて、毎日指導医の先生方や先輩方にご指導いただく場面があり、1日でも早く自分ができることを増やしていきたいと思えるような研修生活を送っています。また同期が多い分、協力し合うことができ不安な面も共有することができています。

マッチングを卒業試験や国家試験の勉強と同時並行で進めていくため、大変な期間ではありますが、研修医として働く上での自分の姿を考えるタイミングでもあり、私としては勉強のモチベーションに繋がっていたのではないかと思います。コロナ禍で病院見学等も難しい時期だとは思いますが、見学ができた際には病院の特徴や雰囲気など情報を集めて後輩の皆さんが自分にとってより良い研修生活を送ることができる病院を見つけられるよう願っております。

# 2020年度 医学部父母の会決算書

## ◆収入の部

(単位：円)

項 目	今年度予算額①	今年度決算②	差 異②-①	備 考
入 会 金 収 入	7,200,000	7,200,000	0	60,000円×120名
会 費 収 入	58,560,000	58,560,000	0	80,000円×732名
受 取 利 息 収 入	2,500	1,813	△ 687	
雑 収 入	500,000	569,678	69,678	(株)文教、(有)藤田保険サービス 保険手数料
<b>当 期 収 入 合 計</b>	<b>66,262,500</b>	<b>66,331,491</b>	<b>68,991</b>	
前 期 繰 越 収 支 差 額	83,455,532	83,455,532	0	
収 入 合 計	149,718,032	149,787,023	68,991	

## ◆支出の部

(単位：円)

項 目	今年度予算額①	今年度決算②	差 異②-①	備 考
学 生 生 活 指 導 費	20,500,000	14,891,650	△ 5,608,350	
入 学 式 卒 業 式 補 助 費	2,300,000	191,860	△ 2,108,140	新入生父母交流会【中止】、謝恩会記念品
指 導 費	10,000,000	10,135,258	135,258	学生指導会
学 園 行 事 協 力 費	3,700,000	87,268	△ 3,612,732	新入生オリエンテーション
課 外 活 動 補 助 費	3,000,000	3,000,000	0	学友会補助
対 外 活 動 補 助 費	0	146,014	146,014	第72回西日本医科学生総合体育大会参加補助(主幹校:鳥取大学医学部)-【中止】、西医体分担金
学 生 生 活 広 報 費	1,500,000	1,331,250	△ 168,750	「父母の会だより」、「私立大学われを創りき」
保 健 厚 生 費	10,591,400	10,315,495	△ 275,905	
医 療 関 係 補 助 費	1,410,000	1,160,300	△ 249,700	学生検診(新入生の心電図検査を含む)、インフルエンザ予防接種
学 生 災 害 補 助 費	2,681,400	2,681,400	0	学生専用総合補償保険加入
福 祉 厚 生 補 助 費	6,500,000	6,473,795	△ 26,205	教室清掃費補助、学生用防災用品・非常用食糧
教 育 整 備 補 助 費	31,514,000	25,654,765	△ 5,859,235	
臨 床 医 学 実 習 補 助 費	11,000,000	5,811,165	△ 5,188,835	臨床実習宿舎補助、実習前検査、ワクチン接種補助(B肝・4種)
教 育 補 助 費	20,514,000	19,843,600	△ 670,400	国試関係補助、教育補助、4年生白衣代、1年生ヘッドセット代
教 育 研 究 補 助 費	3,100,000	3,085,028	△ 14,972	
図 書 購 入 補 助 費	3,000,000	3,000,000	0	
研 究 補 助 費	100,000	85,028	△ 14,972	医学会講演要旨集
運 営 費	7,450,000	1,639,656	△ 5,810,344	
会 議 費	6,700,000	1,197,836	△ 5,502,164	運営委員会(2回・臨時)、総会(書面開催)、懇親会キャンセル料、地区懇親会【中止】
事 務 費	400,000	152,668	△ 247,332	銀行関係手数料、事務用品
慶 弔 費	200,000	49,500	△ 150,500	教員3件
渉 外 連 絡 費	150,000	239,652	89,652	郵送料
寄 付 金	5,000,000	0	△ 5,000,000	
予 備 費	450,000	231,840	△ 218,160	2019年度卒業生記念品
<b>当 期 支 出 合 計</b>	<b>78,605,400</b>	<b>55,818,434</b>	<b>△ 22,786,966</b>	
当 期 収 支 差 額	△ 12,342,900	10,513,057	22,855,957	
次 期 繰 越 収 支 差 額	71,112,632	93,968,589	22,855,957	

## 2021年度父母の会運営委員会

会 長	佐藤 匡昭 (6年)	副 会 長	岩田 伸生 (医学部長)
	陀安 智也 (6年)		長崎 弘 (教務委員長)
	久志本 浩子 (5年)		下野 洋平 (学生指導委員長)
	近藤 博美 (5年)		大槻 眞嗣 (医学教育企画室長)
	北川 裕章 (4年)		吉川 哲史 (6学年担任)
	高坂 昌志 (4年)		石原 慎 (5学年担任)
	今井 英夫 (3年)		外山 宏 (4学年担任)
	武田 功 (3年)		藤井 多久磨 (3学年担任)
	林 隆男 (2年)		浅井 直也 (2学年担任)
	山崎 哲 (2年)		高橋 和男 (1学年担任)
副 会 長	小池 文美香 (1年)	山本 正樹 (医学部企画室長)	
	諸岡 正史 (1年)	横田 正明 (医学部学務課長)	
	監査委員	稲熊 大城 (5年)	監査委員 磯部 一郎 (法医学)
		(敬称略)	常任委員 石川 大地 (総務部長)

# 2021年度 医学部父母の会予算書（案）

## ◆収入の部

（単位：円）

項 目	2021年度予算額	2020年度予算額	増 減	備 考
入 会 金 収 入	7,200,000	7,200,000	0	6万×120名
会 費 収 入	59,200,000	58,560,000	640,000	8万×740名
受 取 利 息 収 入	2,500	2,500	0	
雑 収 入	70,000	500,000	△ 430,000	保険手数料
<b>当 期 収 入 合 計</b>	<b>66,472,500</b>	<b>66,262,500</b>	<b>210,000</b>	
前 期 繰 越 収 支 差 額	93,968,589	83,455,532	10,513,057	
収 入 合 計	160,441,089	149,718,032	10,723,057	繰越金の内5,000万を奨学基金として運用

## ◆支出の部

（単位：円）

項 目	2021年度予算額	2020年度予算額	増 減	備 考
学 生 生 活 指 導 費	22,900,000	20,500,000	2,400,000	
入 学 式 卒 業 式 補 助 費	4,850,000	2,300,000	2,550,000	新入生父母交流会（2020年入学分、2021年入学分）、 謝恩会補助、卒業記念品
指 導 費	10,000,000	10,000,000	0	学生指導会
学 園 行 事 協 力 費	3,400,000	3,700,000	△ 300,000	新入生オリエンテーション、学園祭、白衣式祝賀会
課 外 活 動 補 助 費	3,000,000	3,000,000	0	学友会補助
対 外 活 動 補 助 費	150,000	0	150,000	西日本医科学生総合体育大会参加補助【中止】 西医体分担金
学 生 生 活 広 報 費	1,500,000	1,500,000	0	「父母の会だより」、「私立大学われを創りき」
保 健 厚 生 費	10,627,900	10,591,400	36,500	
医 療 関 係 補 助 費	1,410,000	1,410,000	0	学生検診（新入生の心電図検査を含む）、 インフルエンザ予防接種
学 生 災 害 補 助 費	2,717,900	2,681,400	36,500	学生専用総合補償保険加入
福 利 厚 生 補 助 費	6,500,000	6,500,000	0	教室清掃代補助、環境整備、学生用保存食糧・飲料水
教 育 整 備 補 助 費	32,826,864	31,514,000	1,312,864	
臨 床 医 学 実 習 補 助 費	8,100,000	11,000,000	△ 2,900,000	臨床実習宿舍補助、実習前検査、 ワクチン接種補助（B肝・4種）
教 育 補 助 費	24,726,864	20,514,000	4,212,864	国試関係補助、教育補助、4年白衣代、 1年生ヘッドセット、6年国試当日バス
教 育 研 究 補 助 費	3,100,000	3,100,000	0	
図 書 購 入 補 助 費	3,000,000	3,000,000	0	
研 究 補 助 費	100,000	100,000	0	医学会講演要旨集
運 営 費	7,550,000	7,450,000	100,000	
会 議 費	6,700,000	6,700,000	0	運営委員会（2回・臨時）、総会・懇親会、地区懇親会
事 務 費	400,000	400,000	0	銀行関係手数料、事務用品
慶 弔 費	200,000	200,000	0	
渉 外 連 絡 費	250,000	150,000	100,000	郵送料
寄 付 金	5,000,000	5,000,000	0	THE寄付金（2020年度は寄附せず）
予 備 費	0	450,000	△ 450,000	
<b>当 期 支 出 合 計</b>	<b>82,004,764</b>	<b>78,605,400</b>	<b>3,399,364</b>	
当 期 収 支 差 額	△ 15,532,264	△ 12,342,900	△ 3,189,364	
次 期 繰 越 収 支 差 額	78,436,325	71,112,632	7,323,693	最低繰越金1,800万

## 学 事 日 程

9月27日(月)	講義開始	(1・3年)	1月14日(金)	卒業保留者判定結果発表	(6年)
10月1日(金)	講義開始	(2年)	1月27日(木)	試験開始	(2年)
10月7日(木)	第53回藤田学園医学会	～8日(金)	2月1日(火)	試験開始	(1年)
10月10日(日)	白衣式	(4年)	2月5日(土)	第116回医師国家試験	～6日(日) (6年)
10月11日(月)	臨床実習開始	(4年)	2月21日(月)	第2回総合試験	(5年)
10月14日(木)	第1回総合試験	(5年)	2月25日(木)	基礎総合試験	(2年)
11月6日(土)	防災訓練	(1年)	3月11日(金)	進級判定結果発表	(1～3・5年)
11月15日(月)	第2回卒業試験	～16日(火) (6年)	3月13日(日)	第44回卒業式・謝恩会	
12月10日(金)	卒業判定結果発表	(6年)	3月15日(火)	特別再試験	(1～3年)
1月4日(火)	卒業保留者追試験	(6年)	3月16日(水)	第116回医師国家試験合格発表	
	試験開始	(3年)	3月25日(金)	特別再試験結果発表	(1～3・5年)

# 「近未来病院構築構想」

本学卒業生（8回生）の医療法人社団 同仁会 一里山・今井病院 院長 今井文博先生の下で臨床実習を行った5年生の赤塚理世さんがお話をうかがいました。

## ①先生の現在に至る略歴を教えてください。

出身地は愛媛県新居浜市です。愛媛県立新居浜西高等学校を卒業しました。英語が得意だったので英語を活かす仕事に就きたかったのですが、父親が小児科を開業していることもあり両親に勧められてやむなく医学部を受験しました。あまり勉強していなかったのが当然の結果として合格しませんでした。2浪目で昭和大学医学部に受かりましたが、欲を出して国立大学を目指しましたが駄目でした。3浪中にドロップアウトしてソーファミリークラブという会社に入社して営業の仕事をしていましたが、両親に諭されてとりあえず同志社大学に入学しました。あまり勉強せず体育会系の居合道クラブに入り青春を謳歌しました。入学して半年後に名古屋保健衛生大学に入学していた兄が統合失調症になり学業を続けられなくなってしまいました。両親の落胆した姿を見て、医学部に入ることを決意しました。兄貴が挫折してしまった大学に興味があり、名古屋保健衛生大学に入学しました。入学後は少林寺拳法部と陸上部（長距離走）に明け暮れましたが、なんとかストレートで国家試験に合格することができました。

## ②開業医として普段から心がけていらっしゃる事はありますか。

常に患者の立場に立って診療しています。私は日本脳神経外科専門医ですから当然脳外科領域の患者を診察し、毎週月曜日脳動脈瘤や脳腫瘍の手術をしていますが、地域医療にも力を注ぎ、内科・外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科などの勉強もして、様々な病気の診断・治療を行っています。

## ③勤務医から開業医になられて生活にどのような変化がありましたか。

私が研修医の頃は脳神経外科の神野哲夫主任教授の指導の元に朝6時から夜12時まで働き詰めでした。同期の入局者と二人でA病棟・B病棟各々50人の病棟患者全員の点滴・管理、カルテ書き、手術の助手・麻酔、教授・助教授の外来のオーダーリングシステム入力や書類書きなど仕事漬けの生活でした。研修医終了後には、外来業務並びに分担制での病棟患者管理や手術をさせていただきました。私の学年から数年間脳外科の入局者が殆どおらず、患者の担当はチームではなく主治医制で一人の医師で患者に対応しましたので、大学勤務約20年間で私の部下が存在した期間はなく退職する年まで自分の担当患者の点滴は私が行っていました。臨床の仕事の合間に基礎研究を行っていました。私は脳の免疫細胞であるミクログリアに興味を持ち、国際論文も執筆し藤田保健衛生大学が平成15年に採択された21世紀COEプログラムにも貢献しました。仕事と研究に明け暮れた大学生活でした。

開業時には私は理想を追い求めて先進医療機器を導入したものですから、経営が厳しく勤務医時代と同様に朝から晩まで仕事一筋に働いています。勤務医時代の苦勞があったからこそ頑張っていると痛感しています。開業後しばらく論文を書いてい

なかったのですが、時間を見つけて執筆しています。当施設は手術室を装備した病院・検診センター・高齢者複合施設で構成されており、地域住民の診療・健康管理・高齢者の介護事業を行っています。2020年1月頃からCOVID19感染が広がってきました。2020年8月PCR装置を導入して、コロナのPCR検査を始めました。大学の研究所でPCR装置を扱っていたので、導入に抵抗はありませんでした。検査数が増えてきたので2021年9月高性能PCR検査をもう1台追加購入しました。ワクチンの効果を確認する目的で、近日中に抗体定量検査を始める予定です。厚生労働省の補助金で次世代シーケンサの導入が決まりましたので、コロナウイルス変異株の同定も行なっていく予定です。勤務医から開業医になっても生活様式は殆ど変わっていません。

## 開業後の執筆論文

1. Imai F, Shibata J, et al. (2016). Awake craniotomy for the sensorimotor tumors: combined use of synthesized surface anatomy scanning, stimulation cortical mapping and frameless neuronavigation system.
2. Imai F, Shibata J, Yoneda M, Imai H, Magara Y, Kogame T and Ueda M. Thermography for functional Mapping during Waking-State craniotomy localization of cortical area response to voluntary movement. Clinical Surgery Journal 2020, 1-3.

## ④今、先生が熱中していることは何ですか。

私はお酒が大好きなので、2年くらい前までは時間があれば飲みに行っていたのですが、コロナの流行とともに飲みに行けなくなりました。25年前からボクシングが好きで“緑ボクシングジム”に週に1-2回通っていたのですが、飲みに行かなくなった分練習時間が増えて現在は週に3日ジムに通っています。また時間を見つけて週2日7kmくらいジョギングをしています。私は元々長距離ランナーで、大学勤務時代もトライアスロンにも出場していたので65歳になった現在でもプロボクシング選手と同じくらいの体力はあります。趣味の領域とはいえ25年間ボクシングの練習を行ってきたのでテクニカルにもCランクボクサーよりは上ではないかと自負しています。ちなみに現在は日本コミッションドクターの仕事もしています。

## ⑤最後に、後輩へのメッセージをお願いします。

人それぞれに価値観が違いますから、どう生きるかは人によって異なると思います。しかしながら医師を職業に選んだからには患者に対する診察・治療は、常に自分自身または身内に対すると同様であってほしいと考えます。医学生の方皆さんはこれから様々な試練と向き合うことがあると思いますが、立ち向かって努力することが必ず将来の糧になります。皆様の輝かしい未来を熱望しています。



診察室にて

最前列右が今井院長、左が赤塚さん  
院長の後ろが娘さん、ほか病院スタッフのみなさん



外観

病院の建物の左後方が高齢者複合施設ファミリエ